

1. 研究業績

a. 論文

a-1. 査読付き学術論文（国際学会の査読付き Proceedings も含む）

a-1-1. 英文のもの

- Yoon J, Kanamori A, Fujii K, Isoda H, *Okura T.: Evaluation of maslinic acid with whole-body vibration training in elderly women with knee osteoarthritis. *PLOS ONE*, 13-3, 1-14, 2018-3.
- Monma T, Takeda F, *Okura T.: Physical activities impact sense of coherence among community-dwelling older adults. *Geriatric Gerontology International*, 17-11, 2208-2215, 2017-11.
- Abe T, Soma Y, Kitano N, Jindo T, Sato A, Tsunoda K, Tsuji T, *Okura T.: Change in hand dexterity and habitual gait speed reflects cognitive decline over time in healthy older adults: a longitudinal study. *Journal of Physical Therapy Science*, 29-10, 1737-1741, 2017-10.
- Shen S, Abe T, Tsuji T, Fujii K, Ma J, *Okura T.: The Relationship between Ground Reaction Force in Sit-to-stand Movement and Lower Extremity Function in Community-dwelling Japanese Older Adults Using Long-term Care Insurance Services. *Journal of Physical Therapy Science*, 29-3, 1561-1566, 2017-9.

a-1-2. 和文のもの

- 慎少帥, 藤井啓介, 馬せい宇, 阿部巧, 辻大士, 藤井悠也, *大藏倫博: 要支援・要介護高齢者を対象とした椅子立ち上がり時の床反力と下肢筋力, 日常生活動作能力との関連性. *理学療法科学*, 32-6, 881-887, 2017年8月.
- 青沼亮子, 松田ひとみ, 高尾敏文, 巻直樹, 大藏倫博. 高齢者の抑うつに関連する要因. *高齢者ケアリング学研究会誌*. 8:19-25, 2017年10月.
- 佐藤文音, 藤井啓介, 辻大士, 神藤隆志, 北濃成樹, 金美珍, 堀田和司, *大藏倫博: 高齢ボランティアが運営する運動サークルへの参加が地域在住女性高齢者の下肢機能に与える影響. *教育医学*, 63-2, 186-194, 2017年10月.
- 薛載勳, 藤井悠也, 北濃成樹, 大須賀洋祐, 田中喜代次, *大藏倫博: 高齢者における身体活動の実践時間帯と主観的な睡眠との関連性. *体力科学*, 66-6, 417-426, 2017年11月.

a-1-3. その他の外国語のもの

- Okura T., Tsuji T, Tsunoda K, Kitano N, Yoon JY, Saghazadeh M, Soma Y, Yoon J, Kim M, Jindo T, Shen S, Abe T, Sato A, Kunika S, Fujii K, Sugahara H, Yano M, Mitsuishi Y. Study protocol and overview of the Kasama Study: Creating a comprehensive, community-based system for preventive nursing care and supporting successful aging ". *Journal of Physical Fitness and Sports Medicine* 6:49-57, 2017-1.

a-2. その他の論文（査読無し論文など上記 [a-1] に含まれない論文等）

- 阿部巧, 城寶佳也, 薛載勳, *大藏倫博: 大学の健康増進研究室と総合型地域スポーツクラブが連携した健康づくりモデルの提案. *介護福祉・健康づくり*, 4 (1) : 70-73. 2017年6月.
- 大藏 倫博, 辻 大士, 角田 憲治, 北濃 成樹, 尹 智暎, サガザデマシド, 相馬 優樹, 尹 之恩, 金 美珍, 神藤 隆志, 慎 少帥, 阿部 巧, 佐藤 文音, 國香 想子, 藤井 啓介, 菅原 明香, 矢野 未来, 三ツ石泰大: 「かさまスタディ」の研究プロトコルと概要: 介護予防とサクセスフル エイジング支援に向けた地域に根づく包括的システムの構築 —The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine に掲載された 英語論文の日本語による二次出版. *運動疫学研究*, 19-2, 118-128, 2017年9月.

b. 著書

b-1. 著書（翻訳, 監修, 編集を含む）

b-1. 英文のもの

b-2. 和文のもの

b-3. その他の外国語のもの

c. その他

c-1. 研究発表（開催地も記入して下さい）

c-1-1. 国際学会（要件：50人以上参加, 3カ国以上参加, 1日以上開催のすべてを満たすか, 国際団体連合 UIA または国際会議協会 ICCA 加盟団体の会議）

c-1-1-1. 基調講演

c-1-1-2. 特別・招待講演

c-1-1-3. 一般口述発表（口頭発表）

c-1-1-4. ポスター発表

- Abe T, Soma Y, Kitano N, Jindo T, Sato A, Tsunoda K, Tsuji T, Okura T.: Physical sign for detecting cognitive decline in community-dwelling older adults. The 21th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, San Francisco, USA, 2017-7.
- Seol JH, Fujii Y, Abe T, Joho K, Okura T.: Effects of reallocating time in sedentary behavior with physical activities on sleep in elderly. The 21th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, San Francisco, USA, 2017-7.
- Joho K, Abe T, Seol JH, Fujii Y, Fujii K, Okura T.: Examining physical functioning in older adults: A comparison of two stretching practice methods. The 21th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, San Francisco, USA, 2017-7.
- Fujii Y, Jindo T, Kitano N, Fujii K, Seol JH, Joho K, Okura T.: Gender differences in an ideal exercise partner for the mental health of older Japanese adults. The 21th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, San Francisco, USA, 2017-7.
- Yoon J, Fujii K, Seol JH, Isoda H, Okura T.: Effect of whole-body vibration alone and with maslinic acid on knee strength and pain in elderly women with knee osteoarthritis. ACRM 94th Annual Conference, Atlanta, USA, 2019-9.
- Seal JH, Abe T, Joho K, Fujii Y, Okura T.: Habitual physical activity promotes sleep quality in the elderly? A multilevel analysis of the within-person relationship. World Sleep 2017, Prague, Czech, 2017-10.

c-1-1-5. 企画運営を行った国際学会 (参加人数, 参加国数を記すとともにプログラムも添付して下さい)

c-1-2. 国内学会・研究会 (上記「国際学会」の要件に当てはまらない学会を含む)

c-1-2-1. 基調講演

c-1-2-2. 特別・招待講演

- 大藏倫博: 高齢者の身体活動・運動促進戦略の現状と課題. 第20回日本運動疫学会学術総会, 神戸, 2017年6月.
- 大藏倫博: 高齢者のメンタルヘルスにおける運動・身体活動の意義: かさまスタディから得られた知見を中心として. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 大藏倫博: 高齢女性の生活機能と性差 — 心身機能・活動・社会参加の観点から. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.

c-1-2-3. 一般口述発表 (口頭発表)

- 阿部巧, 金美珍, 大藏倫博: 運動頻度を基にした自動車運転事故リスクと身体・認知機能との関連性 — 高齢運転者を対象とした探索的検討—. 第17回日本体育測定評価学会, 名古屋, 2018年3月.

c-1-2-4. ポスター発表

- 阿部巧, 佐藤文音, 藤井啓介, 慎少師, 薛載勲, 馬せい宇, 金美珍, 尹之恩, 大藏倫博: 高齢者におけるロコチェックとトレイルメイキングテストとの関連性. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 佐藤文音, 阿部巧, 藤井啓介, 金美珍, 慎少師, 薛載勲, 大藏倫博: 長期的なスクエアステップ・エクササイズの実践が女性中高年者の認知機能に与える影響. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 慎少師, 阿部巧, 辻大士, 深山知子, 馬せい宇, 大藏倫博: 要介護高齢者の下肢機能評価における椅子立ち上がり動作時の地面反力変数の有用性. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 薛載勲, 阿部巧, 城實佳也, 藤井悠也, 大藏倫博: 高齢者における身体活動と睡眠との関連性—身体活動の形態および強度の視点から—. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 城實佳也, 阿部巧, 薛載勲, 藤井啓介, 藤井悠也, 大藏倫博: ストレッチング教室に参加した地域在住高齢者の教室終了後の追跡調査. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 藤井悠也, 藤井啓介, 磯野香代子, 大月直美, 城實佳也, 大藏倫博: 短期間のピラティス実践が中高年女性の身体組成および身体機能に与える影響. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 井上大樹, 藤井啓介, 城實佳也, 森聡, 大藏倫博: 地域住民におけるシューズへの興味・関心に関する調査. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 佐賀若菜, 藤井啓介, 城實佳也, 佐藤文音, 阿部巧, 慎少師, 金美珍, 大藏倫博: 男性限定の運動教室への参加が男性高齢者の身体機能・認知機能・心理状態に与える影響. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 永田衛, 藤井啓介, 楠田美嬉子, 薛載勲, 水谷敦司, 石川敦雄, 松下仁士, 大藏倫博: 異なる階段形状における階段昇段が心身機能に及ぼす一過性効果. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 加藤克文, 藤井啓介, 佐藤文音, 藤井悠也, 大藏倫博: 地域在住高齢者における肯定的感情と身体機能との関連性. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017年9月.
- 藤井啓介, 佐藤文音, 神藤隆志, 北濃成樹, 堀田和司, 大藏倫博: 独居高齢者における運動実践形態と抑うつとの関連性. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島, 2017年10月.

c-2. 研究成果に関する新聞・テレビ・ラジオ等の掲載・放送

c-3. 研究成果に関するプレスリリース（筑波大学，所属学会，協会等によるもの）

c-4. 研究成果による受賞

- ・第17回日本測定評価学会（奨励賞：ロコチェックと身体パフォーマンスとの関連，名古屋，2018年3月.）
- ・平成29年度 筑波大学 Best Faculty Member Award（SS 評価教員（教育領域），2018年2月.）

c-5. 公的機関あるいは企業等との共同研究，委託研究，これらからの研究助成，奨励金等（科研費を除く）

- ・「文部科学省 COI STREAM—食と健康の達人拠点—」（文部科学省）
- ・「オフィス階段の長期利用による健康増進効果試験」（株式会社竹中工務店）
- ・「短期間のピラティス実践が中高年女性の認知機能に与える影響」（一般社団法人ピラティスアライアンス会）
- ・「要介護高齢者を対象とした座位運動プログラムの開発と効果の検証」（株式会社元気広場）

2. 教育活動

a. 教育活動による受賞

b. 小・中・高校の教科書，副教材等

c. 学外の教育活動

d. 教育活動に関する新聞・テレビ・ラジオ等の掲載・放送（競技会等の解説を含む）

e. 教育活動に関するプレスリリース（筑波大学，所属学会，協会等によるもの）

f. 学内で自主的に実施している「教室」（たとえば各種スポーツ競技に関するもの）

3. 競技活動

a. 自身の競技活動業績（自身の受賞を含む）

b. 指導業績（部長，監督，コーチなど役割および指導対象者の受賞を記載する）

c. 競技活動に関する新聞・テレビ・ラジオ等の掲載・放送（競技会等の解説を含む）

d. 競技活動に関するプレスリリース（筑波大学，所属学会，協会等によるもの）

4. 社会貢献活動

a. 社会貢献活動による受賞

b. 公共機関あるいは私企業等の委員，役員（平成28年度だけでなく，それ以前からの継続中のものも含む）

- ・スポーツ庁「運動・スポーツガイドライン」作業部会委員（2016年9月～）
- ・スポーツ庁健康スポーツ課・参事官付技術審査委員（2017年4月～）
- ・茨城県笠間市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員長（2016年12月～）
- ・茨城県かすみがうら市健康増進計画策定委員会副委員長（2016年12月～）
- ・日本体育測定評価学会理事（2009年4月～）
- ・日本健康支援学会理事（2013年4月～）
- ・特定非営利活動法人スクエアステップ協会理事長（2007年4月～）
- ・一般社団法人マットス協会理事長（2017年6月～）

c. ボランティア活動

c-1. 日常的，定期的な地域のスポーツクラブ等でのコーチや指導

- ・スクエアステップ運動リーダー養成講習会：茨城県・笠間市（2回）：5月から6月および8月から9月（それぞれ毎週1回：全5回）

- ・元氣いきいき教室：茨城県・笠間市（3回）：10月から12月（2回）および1月から3月（1回）（それぞれ毎週1回：全11回）
 - ・認知機能低下の可能性のある高齢者を対象としたMCI教室：茨城県・笠間市：1月から3月（毎週1回：全11回）
 - ・男性のからだづくり運動教室：茨城県・笠間市：5月から7月（毎週1回：全11回）
- c-2. スポーツ大会などのイベントでの審判や医療スタッフ、大会運営など
- c-3. アスリートとして地域の福祉施設、小学校などの訪問・慈善活動
- c-4. その他（詳しくお書きください）
- d. 社会貢献活動に関する新聞・テレビ・ラジオ等の掲載・放送
- e. 社会貢献活動に関するプレスリリース（筑波大学、所属学会、協会等によるもの）

5. 公共機関、企業等からの委託業務（1.研究業績の“c-5”以外のもの）

6. 特許、実用新案

————— 記入フォームここまで —————

なお、本委員会で調整させて頂くこともありますので、ご了承下さい。